

第47回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和4年3月7日（月） 10:00～12:00
2. 開催方法：Webexによるオンライン開催
3. 出席者：渡邊、阿部（東北大学）、山下（東京大学）、高木・山本（東芝ESS）、宮澤（東京電力HD）、久宗（WANO）、荘田（三菱重工）、長瀬（日立GE）、伊藤（日立）、藤原（電中研）、大橋（オルガノ）、勝村（東京大学名誉教授）、塙、端（JAEA）、杉野（日本原電）【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について了承された。

(2) 第43回定例研究会について

山本委員（定例研究会WG担当）より、資料に基づき今後の定例研究会の基調テーマ案及び次回定例研究会の案が説明され提案の通りに了承された。

次回開催は、6月17日（金）で決定された。

なお、AWC2022が9月に開催されることから、10月の定例研究会はスキップし第44回の開催は2023年3月とすることとなった。

(3) 第20回全体会議資料について

杉野委員（庶務担当）より、資料に基づき説明があり、次いで各WG担当より補足説明があった。資料について一部修正の上、承認された。

(4) 水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

杉野委員（庶務担当）より、資料に基づき水化学部会賞の運用方法とガイドライン及び細則の変更案について説明があり、記載内容を一部修正することで了承され、同日午後の全体会議で承認を得ることとした。

(5) 2022年春の年会 企画セッションについて

山本委員より、資料に基づき2022年春の年会 企画セッションのテーマを「水化学管理指針の改定に向けた議論」とし、予定通り3月16日午後開催される旨の報告がなされた。

(6) 2022年秋の年会 企画セッションについて

山本委員より、資料に基づき2022年秋の大会はAWC2022と時期が重なるため企画セッションは見送ることとし、2023年春の年会に向けて準備を進めるとの提案がなされ、提案の通り了承された。

- (7) 2021 年度部会報の内容案について
大橋委員（広報担当）より、資料に基づき部会報の目次案が示され、提案の通りの内容で執筆することです承された。
- (8) AWC2022 の準備状況について
阿部委員（AWC2022 WG 担当）より、資料に基づき AWC2022 の検討状況が報告された。
- (9) 2021 水化学部会賞の選考結果について
埴委員より、資料に基づき 2021 年度の水化学部会賞として奨励賞 1 名、講演賞 2 名が受賞されたとの報告がなされ、同日午後の定例研究会でお三方から受賞記念講演を頂ける旨説明があった。
- (10) 2022 水化学部会賞の選考委員について
埴委員より、資料に基づき説明がなされ、現時点で 2022 年春の年会における水化学部会賞への応募者は無いことが報告された。今後応募があれば、春の年会参加者から選考員を選定することとした。
- (11) 「会友」制度新設に伴うアンケート回答について
宮澤委員より、資料に基づき会友制度導入に関する部会へのアンケートへの回答が示されたが、無料動画の公開には慎重になるべきとの意見が出された。本意見を参考に宮澤委員にて回答を作成の上事務局へ回答することとなった。
- (12) 水化学ハンドブックの改訂状況について
杉野委員（ハンドブック改訂 WG 幹事）より、資料に基づきハンドブック改訂 WG の状況が報告され、2021 年 12 月 16 日の総務財務委員会にて出版社と原子力学会との契約について承認が得られ、出版社での作業に着手したとの説明がなされた。発刊は来年夏頃となる見込みとの報告があった。
また、国際貢献の観点からハンドブックの英語版を出版すべきとの意見が部会員から出されたが、学会の活動範囲を超える作業量となることから英語版の出版は見送るとの説明がなされた。これに対し、当該意見の趣旨は尊重すべきであり、範囲を限定するなどしてでも何らかの形で海外への情報発信を行う方法を模索すべきではないかとの意見が出され、継続審議することとなった。
- (10) HWC 技術報告書について
山本委員より、HWC 技術報告書について、2 月 14 日に水化学部会 HP で公開されされた旨報告がなされた。

以 上